

### 主な質疑

Q：条例改正に伴ない給水人口、給水量の記載が削除されたが必要なのか。  
 A：目標値が現状にあわないこと、これまでも必要としなかった。

Q：これまでの数値はいつのものが、なぜ見直しをしなかったのか。  
 A：調べたがいつのものかわからない、手元に資料があるので参考として必要なかった。

### 議案第16号

○平成21年度下水道特別会計補正予算(第3号)について

■審査の結果  
 「全員賛成で可決すべきものと決定」

歳入歳出予算から歳入歳出それぞれ2,685万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を10億9,347万3千円とするもの。

歳入の主なものは一般会計からの繰り入れ金1,390万7千円の減額、下水道事業債1,300万円の減額であり、歳出の主なものは総務費・総務管理費の施設改修

基金へ、積立金1,695万2千円の減額と公共下水道費及び特定環境保全公共下水道費の建設費の汚水管布設費をそれぞれ500万円と300万円減額するもの。

### 主な質疑

Q：現時点の繰越金額はいくらぐらいか。  
 A：今現在についてはわからない、先回指摘いただいたように、昨年のような会計処理はしない。

### 議案第17号

○平成21年度水道事業会計補正予算(第3号)について

■審査の結果  
 「全員賛成で可決すべきものと決定」

収益的支出の事業費用の特別損失で過年度欠損を350万円増額し、事業費用総額4億454万6千円とするもの。

### 請願第3号

■審査の結果  
 「賛成多数で採択すべきものと決定」

米価下落に歯止めがかからず米流通に深刻な停滞をきたしている。「米戸別所得保障モデル事業」等の政策を打ち出しているが、政府が責

任を持たない所得保障は大変不安である。米価の価格と需要を安定させることが政策を左右させるものであり、緊急対策が不可欠であると考える。

### 議会中以外に行われた委員会報告

平成22年2月25日

○産業観光課より報告事項  
 1 湯沢町スキー場利用者入りこみ状況について  
 11月～1月10日1万6,140人対前年比87.8%で厳しい数字であるが2月の入りこみが良いとの報告があったが、各方面のデータを提出するように求めたことと民宿などの廃業、倒産について調べるように要求した。

2 勤労青少年体育センター用地の中途解約について  
 解体された体育センター跡地の契約が60年間の契約で未利用期間が21年あることと、今後スキー場用地として契約するに於いてこのほど地権者と話し合い合意した。

3 石川遼選手ククロスカン トリー合宿について  
 湯沢町で行われた石川遼の合宿が終わり70万円の予算で広告料換算1億円以上の効果があったことと、本人

には湯沢の子供たちをはじめ町を気に入ってもらえた。今後も続けたいと好評であった。

4 中国旅行代理店、マスメディア招待会の報告  
 3日間による調査、意見交換により小説雪国の舞台、豪雪の地湯沢の印象は好評であった。今後さらに調査研究し誘客のための方策を考えたいとの報告。

5 駒子の湯火災事故発生報告  
 2月17日昼頃、ボイラー内基盤付近より出火。管理人が消火器で消火して鎮火した。原因の究明と同型のボイラーの調査点検を強く長府製作所にて要求、報告を委員会に提出するように求めた。

○湯沢中里スキー場、神立高原スキー場の現状調査と意見交換について  
 1 湯沢中里スキー場  
 12月11日5%、1月11日0%、2月予想10.6%、自動車の入りこみは13.5%と対前年比を上回る伸びを示している。

経営母体が代わり地域の皆さんも心配していたが好調な出足である。高速道路の1,000円効果が影響し

ていることと、新経営者の営業に対する新たな取り組みがこのような成果を上げている。夏場の営業に対しても積極的でありゴルフ、パークの復活、スキー場の地形を利用し、新たにフランス生まれのフォレストアドベンチャー(屋外冒険施設)の設置などを計画しているとのこと。今後大きく期待したい。

2 神立高原スキー場  
 地域において前経営者の問題が解決していない中、新たに経営に取り組んだ新経営者はこの問題にはさまざま苦労をしている。まず昨年末、降雪にやっと間に合う営業の取り組みでJR、旅行者者などとの契約ができなかったこと。商品販売、宣伝などすべてにおいて出遅れたことが影響して入り込みが悪い。自動車への入り込みも減少している。

これまでの入り込みは対前年比22%減で厳しい経営状況であるが、できる限りの経費削減に取り組み、現状に対応できる体質に改善できている。課題がはつきりしているのが解決に向け努力をし、安定経営にしたいとのこと。若い経営陣には来期に向け大いに頑張ってもらいたい。

16